

1. 件名：敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年12月15日（木）10時30分～11時41分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 対応者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

内藤安全規制管理官、野田企画調査官、海田主任安全審査官、  
大井安全審査専門職

日本原子力発電株式会社 開発計画室：堀江常務執行役員、齋藤執行役員 他4名

同 発電管理室： 2名

同 安全室： 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年12月14日提出済>

・敦賀発電所2号炉 令和4年12月9日第1099回審査会合における指摘事項

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	おはようございます。
0:00:05	規制庁の野田です。
0:00:07	本日は、面談ということで、目的は、先週金曜日のですね、第1点、99回審査会合のラップアップということで、
0:00:21	日本原電の方に、その指摘事項の概要、
0:00:27	作っていただきましたので、それについて認識合わせ、あとは必要に応じて、それに対する対応方針でありますとか、スケジュール感について確認させていただければと思います。
0:00:40	それはさ、まずは、日本原燃から提出ありました指摘事項につきまして、ご説明をお願いできればと思います。
0:01:13	答弁書発電の野瀬でございます。よろしくお願いします。
0:01:16	それでは本当に加えて1099回の審査会合における指摘事項、
0:01:23	ということで、今、四つ挙げさせていただいております。まず一つ目ボーリング柱状図関連ということで、
0:01:31	コア観察カードの実際のK断層のような破砕待命、これも観察者の見立てなので、柱状図残すことを検討すること。
0:01:42	また、
0:01:46	これ、もう一つ、
0:01:48	あ、そうですね。
0:01:51	はい。
0:01:52	はい。
0:01:54	その次ですね二つ、2番、3番目が資料1の4ヵ年、柱状図以外の調査データの修正箇所ですね。
0:02:04	これについて、
0:02:05	再観察の結果なのか等のプロセス、あと理由について詳細に記載すること。
0:02:13	それについてはカテゴリー分けも、
0:02:18	ということと、
0:02:20	あと修正箇所に
0:02:21	修正問題。
0:02:23	ものがついてるんですけど修正前の資料がついてないところについてはそれもつけて、
0:02:28	修正の内容がわかるようにすること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:34	狩野。
0:02:35	その他のところですねちょっと審査会合のところできりとりで、
0:02:39	答えられなかったということで4ポツ目で審査資料提出にあたっての、
0:02:45	この管理についてと、
0:02:47	うん。
0:02:47	と四つを、
0:02:51	言っており、
0:02:56	規制庁無駄です。ご説明ありがとうございました。そしたら、1個1個、順番に見ていこうと思います。まずは、ボーリングの柱状図関連のところですけど、
0:03:09	規制庁側から何かちょっとあればお願いします。
0:03:21	規制庁のここに2行で書いてある通り、まとめるとこういう趣旨でして、コア観察カードに、
0:03:31	K断層の方から臍帯名が
0:03:35	観察性がこうであろうというふうに、
0:03:37	思って書いてあるものについては、それなりに多分、
0:03:43	理由があって書いてある。
0:03:45	いうところなので、入れてくださいってことをお願いして
0:03:49	この1ポツは、
0:03:52	そうですね、申し上げた。
0:03:56	ことが端的にまとめられてるのかなというふうに考えてます。はい。
0:04:01	いや、趣旨としては既設のナイトウですけども、趣旨としては、過去は観察カードに断層面が書いてあるということは、観察した人がそういうふうに見えたということなので、
0:04:14	それは観察事実ですから、検討する記載を残すことを検討することで記載をちゃんとしてくださいということです。逆に観察カードとかズーとかで断層名書いてなくて、後で評価をしたものを、
0:04:29	ここ、これがK断層ですって話は当申請ベースとかでも書いてあるんですけども、それは後から評価した話であって、観察じゃないからそれは書かなくていいですよってというのはそれは前の話と一緒になんですけれども、
0:04:42	あくまでも観察者がこれはK多数に見えるとかこれはこの断層に見えるとしたものについては観察した事実としてそう見えたんだから、
0:04:50	それは観察事実としてきちんと残してください、そういう趣旨です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:02	規制庁がです。さらに不足すると。
0:05:06	審査会合でもお伝えしたんですけど、特にこの辺りのボーリングは、K断層の連続性、
0:05:15	要するに低炭素があるかどうかを確認するために行ったボーリング。
0:05:20	ですので、特に管理課がお伝えした通り、そういう、
0:05:26	観察者がK断層と、
0:05:28	コア観察カードに書いたものっていうのは、我々は残すべきだ。
0:05:33	考えてますので、
0:05:35	その点を、
0:05:36	ご理解いただければと思うんですけど。
0:05:39	今、3名からのコメントに対して、日本兄弟から何か、
0:05:45	確認
0:05:46	に本店等あればお願いします。
0:05:59	日本酒あっせんをする。
0:06:01	わかりました。ただ、このコメントの書き方として最後に、
0:06:06	検討することっていうことは要らないだろうっていう。
0:06:09	コメントでいいんですか。
0:06:11	残すことっていうコメントだと。
0:06:14	わかっていいですかね。はい。
0:06:17	ナイトウですけども、
0:06:19	これラップアップ面談で何をやってるかという、指摘意向として上期残すものをどうするかっていうことを議論してるわけではなくて、指摘の趣旨はどのようなものなのかということについて教室認識が、本来は変えさせわかりましたというか出てるんだけど、
0:06:35	再確認をするためにやっていくという、その目的はちょっと理解をしてください、この文言からどうしますかって話をしてるつもりは全くありますよね。
0:06:51	あと、残すことというコメントであったということで理解しました。
0:07:02	どうぞ。
0:07:05	元の神谷です。よろしくお願いします。
0:07:08	何かそれについての対応方針的っていうか、それは今、今この流れの中で少し
0:07:21	規制庁ないですけど、逮捕方針が、御社が決めてるもの話であって、我々と相談をして決める話じゃないと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:30	で、対応方針決めてそれでいいのかと、対応方針について議論したいっていうんであればそういう形でもって、ヒアリング、会合にかけていくし、対応方針を議論したいっていう形でもって、ヒアリング資料作って、
0:07:42	介護適用化しますここで議論する話じゃないと思います。
0:07:47	はい、原電の神谷です。わかりました。今日
0:07:50	あくまで
0:07:51	審査会合でのコメントの趣旨をきっちりと理解するという場であるというふうに理解をしました。
0:07:58	以上です。
0:08:05	規制庁無駄です。
0:08:08	そしたら、うちはもう、なので、
0:08:13	はい。
0:08:14	大丈夫です。
0:08:16	そしたら、2ポツの方。
0:08:19	資料1-4関連で二つですかね。
0:08:25	理由を詳細に、
0:08:27	括弧、カテゴリー分け、あとは、修正内容がわかるように新旧の話ですかね、この点、
0:08:33	これも二つセットだと思いますんで、もし規制庁側から何かあればお願いします。
0:08:41	ナイトウですけれども、これ、趣旨我々が理解をしていますか、詳細に記載をするか。
0:08:51	ことということを求めているわけではなくて、
0:08:55	きちんと事実を書いてくださいと再評価をしたんだったら再評価であってこれ修正ではないですよねということは確認をさせていただいたんですけども、
0:09:08	修正、
0:09:10	だから全部修正という形にしてるけど修正ではないものが、
0:09:15	結構入ってますよねと。
0:09:18	そこは修正ではなくて再評価をしたんだったら再評価をしたと、きちんと書いてくださいと、再評価をしたのであれば、どれとどれを見比べてこっちの方が正しいんだと判断したのかという、それは根拠も必要ですよねと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:33	ということについても、あの会合で指摘していくかと思えますけれども、ちゃんと修正という1くりにするのではなくて、
0:09:41	再評価をして、評価を変えたのであれば変えましたと。その結果として、二次的に当会合で、議論もありましたけど、
0:09:53	最終名を変えたことによって走向傾斜、当然変わりますよねとそれ二次的に評価を返す、評価をし直したことによって、違うところを、最新面としたからその採取、走向傾斜とかそういったものを引っ張ってきましたと。
0:10:10	いうのであればそれはニーズ的に、評価を再評価したことによって二次的に変更されるもの。
0:10:16	ということなので、そういうのもわかるように区別をして、きちんと修正ではないものの修正が放り込んじゃっているんで、それは変ですよねと、そこは直してくださいという趣旨でコメントをしています。
0:10:31	ということ認識一緒であると思うんですけど、とするとこの書き方良いんじゃないですか。
0:10:42	あど、
0:10:43	現在のカミヤです。ちょっと修正、詳細なっていう言葉じりが、
0:10:49	よくなかったかもしれませんが、前回お出した資料ですね、1から157まで並んでる中で、例えば、破碎部ごとでまとめてその修正理由のところですね。
0:11:02	一括でこうするいうふうにこう書いてましたので、
0:11:06	そこを、今内藤管理官言われたように、1個1個ブレークして、それが最初は再観察だったのか再評価なのかって、それに応じてその次はどなのかっていうのをきちんと分けてか。
0:11:19	変えていこうという趣旨で、詳細、
0:11:22	練ってくる。
0:11:26	この資料は帰った。
0:11:29	までのことです。
0:11:30	組織は対応している。
0:11:33	しています。
0:11:35	飯田内閣で趣旨がメインになるような書き方にしてください。
0:11:43	会合では言わなかったけど、結局ね、再評価をして、変えましたと言ったら元も子残ってないって話になっても、結局また和崎支店ですよ皆さん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:56	そこは重大な問題意識を持ってください。
0:12:04	原電の神谷です。
0:12:06	ちょっとプロセスという言葉で、ここでは書いちゃってますけどそのところが具体的にどういう行為なりで、やっていたのか、直していつてるのかってのわかるように、書くということで、
0:12:18	会話の時の書き換えてる。
0:12:21	ということですかというやりとりがあったのを、十分承知をしておりますので、そういうことのないようにですね、そういうことじゃないってことがわかるような記載にきちんとしていたいと考えております。
0:12:35	認識が共通してあればいいんですけど、だからそのそういうきそういう認識を持ってるんだっていう記載をちゃんとしてください。
0:12:46	これだと、修正箇所の詳細を書く。
0:12:49	ばいいんですねっていうふうに読めちゃいますよね。
0:12:53	そういう趣旨ではないので、
0:12:56	はい、神谷です。
0:12:58	今度、今度お出ししていく資料の中で高校のところはですね、直したいと思います。以上です。
0:13:09	規制庁野田です。詳細ってところは今、神谷さんからご説明いただいて、
0:13:16	項目ごとに書くというのは、はい。
0:13:20	理解しましたけど、
0:13:24	この
0:13:25	文章、
0:13:28	再観察の結果なのかっていう。
0:13:33	直し直すもう今認識合わせができたんで、不適切なものが今度出てくるんじゃないかと思うんですけど。
0:13:42	再観察ってのはあくまでプロセスの過程であって、
0:13:46	最終的に書くのは、今管理官から話があった通り、再評価なのかってことですよ。
0:13:58	多分言ってるその、
0:14:00	修正箇所についてっていうとき細観察の結果っていうのは、
0:14:05	多分結びついてないんじゃないかと私なんか思う。いずれにしても、評価の見直しなのかどうかっていうところが、一番の論点じゃないかと。
0:14:16	私は認識しているんですけど、御社はそういう認識でいいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:25	縁のカミヤですけど、
0:14:28	今回構築したうちの、
0:14:30	業務プロセス、或いは設計要求の中で、
0:14:34	乾燥、これは観察結果なのか、或いは評価結果なのかっていうのを、
0:14:40	一応識別してわけよ。
0:14:43	識別してですね。
0:14:45	きっちりデータを確認していくっていう。
0:14:47	形にしているので、ちょっとそのあたりの言葉の使い方ってのは、この間もやりとりありましたけども、
0:14:58	お互いちょっとそごのないような言葉遣いにして考えたいと思ってます。
0:15:03	うん。つまり例えば肉眼の観察結果を何か再評価っていう言い方を今ちょっと直ちにそういうふうな言い方をすると、
0:15:12	うちの決めてる手順の中の言葉遣いとかその、
0:15:15	どうなるかってまたそこで矢野層が出てくる。
0:15:19	こともあって、
0:15:20	そこは今考えている。
0:15:22	所です。はい。言われてる意図は理解をしてるんですけども。はい。
0:15:31	あ、施設小野田です。ご説明ありがとうございました。そうであれば、やっぱりここは、
0:15:39	言葉の定義ですかね、定義を明確にした上で、ヒアリングでの事実確認とか、審査会合で議論しないと、おそらく、
0:15:49	かみ合わないと思いますんで、そこはじゃあ、もし御社がそういう、
0:15:54	ことを、
0:15:56	ご説明されるのであれば、言葉の定義を明確にし、
0:16:00	うん。
0:16:01	資料に記載してもらおうよ。
0:16:04	お願いします。
0:16:07	えっとね、谷中ですけども、案でここのね、書いてある文言見ると、
0:16:13	認識が共有されてるのかどうなのかってのは、
0:16:17	わからないんですよ。だからね、皆さんは資料上修正箇所という形でまとめたんだけど、会合で議論した結果として或いは修正箇所じゃなくてさ、
0:16:26	再評価結果の修正箇所、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:28	こういう形になってますっていうことは、共通認識になったと思うんですよね。それは修正箇所じゃないですよ。
0:16:35	再観察の結果として、はい
0:16:39	評価が多い。
0:16:41	だから最新だったら最新面を変えましたと。
0:16:46	それって修正じゃないですよ。
0:16:51	最新面を変えたんですよ。
0:16:55	それは観察事実なのか、評価した結果としてなのか。
0:16:59	はいろいろあると思うんだけど、最新面を変更しました。
0:17:03	変更というか、変えました。
0:17:09	いうことなんだから、その修正じゃないですよっていう。
0:17:14	ことなので、ちゃんと。
0:17:18	評価を変えたんだったら評価を変えましたということが明確にされたとそれを解除修正という一言をやってしまうと、結局、前、前もだったように、前のやつを上書きして消しに行ってるだけになっちゃってるんですよ。見た目、
0:17:34	そこが海外の問題なので、
0:17:37	それをやるにあたって、要望の定義をきちんとしましょうねって話もありましたけどもそれも書いてなくてね。
0:17:45	用語の定義として、どういう行為をどういう要綱にするのかっていうことについて整理をした。
0:17:52	しゃべる
0:17:53	して、共通認識をまず持てるようにしましょうねというのも、何かこれの付随的なコメントとしてついてるわけですよ。
0:18:06	ばくっとまとめるんじゃなくて、議論をして、どういうきょ、認識共通認識になったのかってのがわかるような形できちんと作ってもらいたい。
0:18:17	ですよ。
0:18:24	だから3ポツのほうも修正箇所についてシステムシステム添付して修正願いわかりますこと。
0:18:30	で、これあと、
0:18:33	わかんないですよ。
0:18:34	会合で議論したことは、どうもうどこ行ってんのかって、
0:18:38	結局は一緒。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:40	変わって変更したんだとき、最初に変更したんだったらちゃんと変更、最新面前はこうだったんだけど、
0:18:49	今はこうなここになってますとそれは何でそうなったのかっていうのわかるようにしてくださいっていう趣旨であって、
0:18:56	これだとね、動きも含めて全部並べるような書き方なっちゃったんですよ。
0:19:02	前はどうなっていたってはどうだったのか、そんなこと求めてるわけじゃなくて、
0:19:11	そこまではよろしいですか。
0:19:13	いいですか。
0:19:14	現在、
0:19:16	辨野神谷です。その趣旨は十分わかっている、ただ今日この場として、どこのことを言っているのかっていうのを一応、この間お出しした資料の引用というようなことがわかるようにあのときはこの
0:19:28	修正箇所一覧表というふうに、
0:19:31	読んでいたので、そういう紐づけが表の場としてわかるようになっていうことで書いてます。
0:19:38	この後これをどう整理するかっていうところはきちんとこれ変更なのか、単なる大きな扱いなのかっていうところは、先ほどの議論の通り、きちんとそのプロセスというか、どういう行為、
0:19:49	をやった上で、その根拠も含めてっていう、
0:19:52	ことで対応しようと考え、
0:19:58	ナイトウですけども、であればね、ちゃんと修正としてまとめた一覧表には、いわゆる修正じゃなくて評価し直したものも入っていい。
0:20:10	というか、入っているので、それをまず分離しましょうね。
0:20:14	ということで分です。で、
0:20:18	評価を変えたものっていうか最新面なりを変えたものについては、それは修正ではないので、
0:20:28	何で変えたのか等、根拠もわかるような形で、
0:20:31	きちんと整理をし、
0:20:35	してください。
0:20:36	ということ。
0:20:37	書かないと。
0:20:39	わかんないですね修正箇所についてうまいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:42	わかるようにすることってこれだけ見ると、あとで、中身をもう1回、全く朝な人が、これを見てす。今言った趣旨はわかんないですよ。そういうそういう趣旨だったのかってのはもう1回会合を見直さないとかんないすよね。
0:20:58	見直さないとかんないってことは、指摘事項の趣旨が掴め
0:21:04	掴んで、きちんと書き起こせてないってことなんですよ。
0:21:11	そこは留意して欲しいんですけど。
0:21:16	カミヤです。承知いたしました。
0:21:26	規制庁、野田です。あとこの資料1-4、関連のボーリング柱状図も関連してくるのかもしれないですけど、サンプルを、
0:21:36	コメントがあったかと思うんですけど。
0:21:40	それはなぜここに書かれてないか。
0:21:44	確認させてもらっていいですか。
0:21:54	日本原子力発電、野瀬でございます。シャンプーは今後の進め方として、今回これで確認した上で、
0:22:03	直していくにあたって、全部直してから、
0:22:08	余った間違ったらまずいので今後の進め方としてこの後、サンプルを、
0:22:13	用意してサンプルで1回面談、面談なんかヒアリングなんかやってもらってっていう、そのステップとしてなのかなと思ってコメントとしては、
0:22:24	記載しなかったん。
0:22:27	ということでございます。
0:22:34	ナイトウですけども、刀禰、これも金再開、この2ポツ3ポツの趣旨を確認する。これを全部やると作業時間いっぱいかかっちゃうから、
0:22:44	いやそういう趣旨じゃなかったですよ支払い違いますよねってならないように、ちゃんとまずはサンプルを作ってそれで会合で合意をしましょうと言ってるわけですよ。
0:22:56	そういうやり方でいいのか。
0:22:58	ということ。
0:23:04	カミヤですけど、
0:23:06	あ、すいませんそこは誤解を
0:23:09	してました。
0:23:11	ですから、この間は、
0:23:13	資料1-4にしても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:16	K断層と10行分ということでの変更の一覧をお出ししたんですけども、
0:23:22	それの中での、
0:23:24	サンプルみたいなものを幾つか、
0:23:28	代表的なもの、或いは包括的になるようなものを選んで、それを、
0:23:33	次の審査会合で議論すると、そういう進め方という理解ですね。
0:23:40	そうです。だから、どういう形で直すのかということについて、きちんと方向性が合意できない形で全部出したところで、もう1回作業発生する可能性があるじゃないですか。それとすごい無駄な作業ですよ。
0:23:55	なので、こういう考え方、分類の仕方はね、考えてもらってもいいんだけど、何をサンプルとするのかってのは考えてもらわなきゃいけないんだけどこういう過去にこの手のものはこういう形に、
0:24:09	こういう考え方で整理するので仕上がりとしてはこういう形のものになりますとかね。
0:24:16	そういったものを、サンプル出してもらってそれでいいのかなのかと。
0:24:19	それを転換して全部作業着手していいのかなのかっていうところをまず議論しましょう。
0:24:24	ということなので、
0:24:26	当然ここに書い、書くべきものですよねと、まずはサンプルでエースエース指摘した内容をどう反映するの資料上反映するのかっていうことについて、
0:24:39	出してくださいっていうのは、書くべきじゃないですかっていう数字。
0:24:44	はい、全然関係です。
0:24:46	よく理解しました。
0:24:48	すいません、ちょっと11月の時の
0:24:52	面談の時のこの確認の面談時の流れがありましたので、
0:24:57	ちょっと私たち間違った理解をしていましたので従ってここにも書いてなかったと、いうことですので、今ノダの今後の進め方とか、
0:25:08	どういうふうに我々の作業スケジュールを
0:25:11	考えたのもよりちょっと明確になったかなと思います。はい、ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:19	いや、いやだからね、介護者、齋藤さんが嫌だからそこでちゃんと3分作って早急になって言われたから、わかったのかなと思ったんだけどね、そこで、
0:25:30	よくわかんなかったら、わかりましたとかいろいろ言わないで、確認をしてください。
0:25:36	会合の場で、基本は、会合の場で、共通認識、
0:25:42	負えないといけないので、
0:25:59	すみません、原電の齋藤でございます。先週の会合でのですね私はちょっと結構大変です良くなかったかもしれません、今のですねやりとりの中で、我々がちょっと全く誤解してたのは、
0:26:12	最初野瀬が言ったようにですね、このサンプルっていうのは、面談もないしヒアリングで同額にいただいて、その上で、
0:26:22	方向性がお互いに共通認識がやられたら、それに従って仕様を全体を作ってそれでもって審査会后なのかなというふうになら、正直思ってたところであり。それを、
0:26:34	全くちょっと私どもちょっと誤解で、その三分に関しても審査会合できちんとやりましょうということは今回ちょっと改めてですねしっかりと理解しましたので、その方向で対応させていただきたいと思。います。
0:26:48	はい。お願いします。あのね、審査って審査プロセスの改善のところのうち委員会で議論してるけれども、ヒアリングで議論をさせてくださいっていう、事業者さんから言われたんだけど、いやそれはね、まさにこの
0:27:03	会合で議論すべきものです。だから、会合の回数、頻度を上げていきましょうと。論点あったら論点をまずすぐにやりましょうということと、あとは作業に時間がかかるもの。
0:27:17	一定程度かかるものについてはその作業の方針がいいのかどうなのかっていうことも作って方針を議論しましょうと。やり直しがないようにとそれでええと、
0:27:26	効率的な会議審査をやっていきましょうという形になっているわけなので、ただこういう作業を、
0:27:35	みんな水平展開しなきゃいけないという話になるとそれ作業時間膨大になるし、
0:27:41	等でかつやった方がいいけど、いや、しこうい。うことを問題じゃないんですよねって話なってもまたやり直しになってまた膨大な時間かかるって話になるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:51	そういう観点から方向性は必ず会合で議論するっていう形でうちはもう言っておりますので、
0:27:59	そこはそういう形で、
0:28:03	認識していただきたいというのと、逆に、
0:28:07	事業者として、ここは議論したいんだというところがあるのであれば、自分たちでここは議論したいからっていう形でテーマを立ててきちんと、
0:28:19	買い物で議論できるような資料を作って、ヒアリングに持ち込んでくださいと。それから逆に言うと、いやそれはそれをやるのであれば、今、どこの会社さんもスケジュール、
0:28:32	どういう形で、どういう形の何をやりたいっていうのをスケジュール出してもらっていますけども、そこに事業者としては、これを進めなかったらこれが解決しないと先の作業の見通しが見つからないからここを先に議論してくださいと。
0:28:45	それを、それを受けた上でこの話を議論したい。
0:28:48	というのがあってあればそれはスケジュールとして書いた上で、明示していただきますってそういうことですので、
0:28:55	そう、そうそういうやり方をやることによって審査プロセスが改善して効率的な運営をしていきたいと思いますってそういうことですから、そこは、
0:29:04	全然、
0:29:06	においても、よく考えて、どういう形でやるのがいいのかってのは考えていただきたい。
0:29:12	それはねそういうやり方がいいのか権藤でいいのかというのなんかも含めて、
0:29:16	会合で議論してそういうやり方とするんでしょうかって話になるってことですので、
0:29:22	そこは、
0:29:25	よろしくお願いします。
0:29:26	はい。
0:29:29	斉藤でございます。
0:29:31	私どももですね今年の9月7日の規制委員会ですね諮られた審査の進め方のペーパーとかも呼んでおります。で、のご指摘の件もですね、理解しているつもりでございましたけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:47	ちょっとその、あのですね三部の件数は少しちょっと私ども曖昧に考えてしまっておりましたので、そこも今の内藤管理官ですね、おっしゃるご指摘ありましたように、きちっとそこはですね、審査会の場で、
0:30:00	審議いただけるものをですね、早急に作成して、スケジュール感も含めてですね、配布もできるだけ早く、私どもの次の次もう一度、
0:30:12	面談ないしですね、そういった形でR F Sの形でですね、ご議論いただけるように準備していきたいと思っておりますので、よろしく願います。はい。
0:30:28	等、
0:30:30	ちょっと今話をよく理解しました。その上で、そうすると、先ほどのちょっと柱状図の方もですね、
0:30:38	先ほど確認していただいた方針で、この間お出しした10本分について、すべて作業を進め、
0:30:48	ようかなというふうに考えてはいたんですけれども、
0:30:51	そちらについても、現在の考えということなんでしょうけど、そこも、例えばこの間ご指摘いただいた具体的なH24-Dの1個、ここを、
0:31:01	こういうふうに直しますと、仕上がりはこうなりますっていう、その一つのこのサンプルみたいな形で、実はこれ設計要求とかもこういうふうに直しますっていうことノセセットというのが、
0:31:12	例示的なご説明になるかなと思うんですけど。
0:31:15	そちらも含めてという理解をしてもよろしいということですね。
0:31:24	えっとね。
0:31:26	契約をこういう形で見直しますという話については、審査会合と審査としては特にいらないと思って。
0:31:35	それ、
0:31:37	だって、これまで見直すとか、いつになるんですかって話ですよ。
0:31:42	それって厳然、もう社内手続き、
0:31:46	こういうふうに手続きを見直した方がいいと判断したのでは、直しますっていう話ですよ。
0:31:54	で、その、そこって本来、プロセスとしての幹はできているというのを検査で確認していて、
0:32:02	そこをP D C回すってのは、別にこういうふうにしますという話をうちの了解をなきやいけない話でも何でもない。
0:32:16	原電の神谷です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:18	了解を得るというつもりではなくて、この間の資料の中でもですね、
0:32:23	柱状図に関しては、基本的にこういう個別の要求事項をしておりますっていうのを、
0:32:30	ご説明していますので、
0:32:32	で、先ほどこの1ポツの件について言うと、これは、こういう断層面については、やっぱり1時観察者の所見であるということで、
0:32:41	柱状図に書きましようみたいな。
0:32:44	そういう資料作成方針。
0:32:47	なると思ってんですよ。だからそれぐらいは書いた上での説明になるのかなと。
0:32:53	もちろん社内の話ではあるんですけど、一旦あの審査会合でもご説明をしていますので、こここのところを元のす要求としてこういうふうに変えますっていうことはやっぱり、
0:33:02	残らないと、何か言われたから直しましたっていうだけになっても、
0:33:08	12月9日の資料との連続性が、
0:33:12	なくなるかなと思ってちょっと考えていたところです。
0:33:15	内藤です。
0:33:17	いやそうでそれが
0:33:21	今後も反映できるようにプロセスっていうか要求事項を見直しますだけの話であって、
0:33:28	それ、事業会計的な話ですよ。
0:33:34	逸見亀井です。ご趣旨よく理解しました。考えたいと思います。はい。
0:33:47	規制庁、野田です。
0:33:50	よろしいですかね。この新居さん、刀禰のためお伝えしておくところの指摘事項っていうのはその資料のその修正だけではなくて、そういう今後はどういう、具体的に言うと、もしこの間審査会合のことで具体的に言うと、
0:34:03	我々サンプルを示してくださいって言って御社はそういう方針でやりますっていうそういう対応方針って別に変えちゃいけないわけではないんで、それはこの指摘事項の中に、
0:34:12	教えてもらえればと思い
0:34:16	あと、
0:34:20	けども、今のまま言ったのは、対応方針ではなくて、会合で合意した事項ですから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:28	デフ対応に指摘をされたことを、持ち帰って検討して、こういう方針でという対応方針は、それを、このここでやれば話じゃないっていうと思うし、ここに書く話じゃないんだけど、
0:34:41	会合の場で、こういう進め方をしましょうねという形で指摘をして合意した内容についてはちゃんと書いてください。
0:34:53	ノダです。すいません。言葉の、
0:34:56	使い方が適切じゃなくて、対応方針、進め方、
0:35:00	審査会合で合意した進め方についても、この指摘事項の中に加えるようにしてください。
0:35:08	あと、
0:35:09	最後吉国 4 ポツの項目。
0:35:13	審査資料の提出にあたっての不適合管理について、
0:35:19	私はこれは、
0:35:20	記載が中傷する抽象的すぎて、御社が何を、
0:35:27	先週の会合のやりとりを踏まえて、どう認識されて、
0:35:33	どういった資料が出てくるのか、ちょっとこの一行で理解ができないんですけど。
0:35:41	規制庁側、皆さん、どのように、
0:35:45	認識されてますでしょうか。
0:35:48	ナイトウですけど、いや、
0:35:52	1人踏まえて、どういう。
0:35:56	ことを認識されたのか、これだとわからないんですけど、どういうことをやるということが、介護で、
0:36:06	議論した結果として佐山さんが言われたんだけどお話確認をして、しますっていう話を試算されてんだけど、
0:36:17	議論をした結果として、どういうことをやることに合意できたのか。
0:36:22	うん。
0:36:24	現場の認識をまず教えていただきたい。これだとな。
0:36:29	テーマが書いてるだけで、
0:36:31	何を作業するというで合意したのかっていうのがわかんないんですけどそこは、現状の認識としてはどういう認識なんですか。
0:36:49	原電の神谷です。すいません。
0:36:53	不適合管理について説明することという趣旨でございます説明することによって我々からとしては、そういう趣旨。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:02	でございます。
0:37:09	現在のイトウでございます。でもちょっと言いますと、不適合管理自体を説明したいというよりは審査資料の適切性について、
0:37:20	議論があったかなと思っていましてそれについてですね我々がうまく説明できなかったということが、
0:37:27	ありましたので、前回、ご議論になりました資料1-4に関するところですね、不適合管理の
0:37:35	が終わってないとかそういうような話があったところを我々としてしっかり
0:37:41	不適合化に基づいて、きちんと委託報告書が
0:37:48	に反映されて、正しいものとして審査資料出したんだっていうところを説明しておく必要があるのではないかと考えて、今このような記載になってるということでございます。
0:38:02	規制庁前規制庁ナイトウですけども、えっとね。
0:38:06	やりとりしたけど、結局最後石渡先生が言われたのが、バクツとした最後の話で、これ、出てきた資料って不適合処理場の同意で、どういう処理が完了したものなってるんですか。
0:38:21	ということなんですよ。だから、
0:38:24	品証上で言うとね、不適合が発生しましたとあって、原因ととか本来あるべき姿とか検討した上で、修正、
0:38:35	ちょっと不適、
0:38:38	是正措置の中の修正が必要だっていうんだったら修正。
0:38:45	しよしなきゃいけないわけですよ。
0:38:47	で、修正措置をするときに、じゃあそれを表に出すときには、その修正が、不適合処理上、これで問題がないという判断をした上で、出てないと。
0:38:59	会社の中での不適合との関連の中で、修正処置としては修正内容としてはこれでいいので、これで対外的に説明をしますというところまで進んでないと。
0:39:14	会社としての意思決定されてないものになっちゃうんじゃないんですかっていうそういう問題意識なんすよ。だから、不適合管理の中で今回出てきた資料ってのは、どこまでいってるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:26	少なくとも、だから、いろいろね、検討会やってますってのはわか分かるけど、その結果を踏まえて、修正内容はこれでいいんですというところまでは不適合。
0:39:38	一つ、
0:39:40	管理の中で完結してるんですか。
0:39:43	不適合送ってるんだから、そこまで修正所数、修正内容としてはこれでいいっていうことが、
0:39:50	終わってなければ、
0:39:51	プロセスの中で意思決定をされたけど不適合処理としては、まだ不完結してなくてそれでいいかどうか判断されてませんってことなっちゃうわけだから、
0:40:04	だからそこ、そこはどういう位置付けなんですかっていうことで、まだ確認しにそこまでチェックしきれてないから帰って確認をして説明しますってなってるっていう。
0:40:15	認識なんだけど、そういう認識。
0:40:19	じゃないんですか。
0:40:24	はい。現在、どうです。ちょっと今日詳しい話までってことではないのかもしれないですけど対策三つ、用意してあってそのうち一つがですね、
0:40:37	審査資料を直して提出するっていうところまでを考えていたので、不適合の帳票上は終わっていないという扱いですけど、
0:40:49	対策を決めるのもここにいる野瀬マネージャーで対策が完了したという、判断するのもこのノセマネージャーですので、今回の資料を出すにあたっての対策が終わったということを判断して、
0:41:03	出していると、いうことです。
0:41:08	適合所の
0:41:10	処置が終わったと判断して出したということになる。
0:41:18	ナイトウですけども、刀禰藤部長も言ってたけど、あれね、規定が二つ分かれてるんですよ。
0:41:28	うん。うんいわゆる内部の技術的な妥当性の規定と、外部コミュニケーション。
0:41:36	いわゆる外部コミュニケーションのきちっと分かれていて、どういう不適合の経過してるかわからないけど、今説明しているのは、外部コミュニケーション法も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:46	説明されてるような気がしていて、それ外部コミュニケーション行く前に、技術的な妥当性というところのところで、両不適合処理とか修正処置が完了しているので、それをどうやって説明をして
0:42:03	ISAということが顧客満足を得るとかつう話。
0:42:07	と、何かごっちゃになってるような気がするので、
0:42:12	だからそこはどういう的から聞いたとしても、気にしてるかわかんないから何とも言えない部分あるんだけど、少なくとも、
0:42:18	これって、技術的な中身の話だ。
0:42:21	なるんだから技術的な中身としての部分は設定。
0:42:26	要領の方になっていて、設計の中で、外部からこういう指摘があって、見直しをしましたと。規定も見直ししましたと、どういう形でやるかと。それに照らし合わせたときに、結局それを、
0:42:39	照らし合わせて作業した結果として、前のものと違うものになってます。
0:42:46	なりますと、じゃあそれはじゃあ、ここ新しいものが適切なものですねってというのが判断されていって、
0:42:55	判断されているから外部コミュニケーションの方に移った上で、それをどういう形で資料10を展開をかけるのかっていう話になってるはずなんですけど、
0:43:06	なんですけど、
0:43:07	どちらかというと、こっちの外部コミュニケーションの話じゃなくて、規定の方が技術的な規程の方で完結してるんですか。
0:43:15	してないんだったら、幾らやっても、これって完結してないものを説明されても我々困っちゃいますよねってということなんですよ。
0:43:26	今その設計プロセスですとか今回委託なんで調達のプロセスとかが出てくると思うんですけど、その辺のプロセスもすべて踏んだ上で、
0:43:36	外、外部コミュニケーションプロセスに進んで審査、会合資料を作ったということでございます。
0:43:44	手島です。だから、
0:43:48	不適合処理の中でどういうステータスになってますか。
0:43:52	技術的な系統の方のところで、プロセスを踏んで、これは修正室として妥当なものです。
0:43:59	記載の変更をかけるのが妥当なものであるということについて、プロセスが終わってるのか終わってないのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:06	はい。そこはきちんと説明してください、不適合の中でね。
0:44:10	不適合管理の中で、どういう管理してるのかよくわかんないけど、どこまで進んでますってのは、通常管理するじゃないですか。
0:44:19	資料、いついつ、これかけて、ここで判断権者の了解とっていついつ終了というプロセス。
0:44:27	うん。
0:44:28	踏んできますよね。そこがどこまでいってるのっていうのをちゃんと説明しているということなんですけど。
0:44:39	ごめんヒンショウ詳しくない人だとわからない話をしているような気もするけれども、
0:44:55	もう一度、もう少し言うと、えっとね、規制庁の了解がえられたら、終了なんですと言われてたんだけど介護でね。
0:45:06	あれって、だから外部プロセスの方はそうなんだけれども、そこが問題なんじゃないんですよ。
0:45:14	設計プロセスの方の、
0:45:17	補が修正内容の妥当性というのが確認できているのか。
0:45:22	その修正内容が妥当なものをどうやって資料側に展開するのかというところで、コミュニケーションプロセスなんだけど、
0:45:32	コミュニケーションプロセスの方は後いわゆるISOで考えてる顧客に提示をして了解終えられなければ、こっちのコミュニケーション部終了しない形になっちゃうので、要素は終了しませんよねって話なんだけど、
0:45:44	技術的な検討としてのプロセスのところの間終わってるんですが修正措置は、不適合処理としてこれで問題がない修正がないようすってことが完結してるのかどうなのか、そこをちゃんと説明してください。
0:45:59	元の神谷です。承知しました。
0:46:04	どうしてもあの会合のときの受け答えもですね、不適合管理表にどう変えたかっていうちょっと文言に引きずられた、ちょっとやりとりになってしまって、それは
0:46:15	決して間違った説明をしてないなってこう横にしながらも聞いてたんですけども、
0:46:20	いずれにせよ、設計開発のプロセスの方ですね、ここの内数としての調達管理もあるんですけども、そちら側の設計管理、変更管理

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:30	こういう方向でしっかりやってる流れ等で、こうやって不適合管理でどういうタイミングでどういうことを講じていくか、どういう歯止めになってるかっていうところ合わせてですね、
0:46:41	ご説明できるようにしたいと思います。
0:46:46	はい。
0:46:47	細かいプロセスがどうなってるかっての、我々求めてんじゃなくて、
0:46:52	修正内容が妥当であるということについて設計側の判断がなされていてそれが不適合として管理として、下、そこまで終わってるんですよっていうことを確認したいっていうそういう趣旨ですので、
0:47:10	うん。2人募集のそこの処理が完結しないと、不適合処理として完結してないものを説明してるって話になっちゃうじゃないですか。そう。それって我々、
0:47:20	どう扱えばいいですかって話になっちゃうから。
0:47:24	そこはよろしくお願いします。
0:47:28	あ、はい、依田カミヤで承知いたしました。
0:47:40	後に、
0:47:42	であるんだけど、石賀谷先生がね最後総括してるんだけど、
0:47:49	百瀬振興に反省していただきたいっていう話。
0:47:52	まとめてはいるんだけど、
0:47:55	これってね、観察事実はきちんと出してください。
0:48:01	今回、新しいプロセスに基づいて、
0:48:10	やると、全く違うものになってますって言うじゃさ。
0:48:17	それを踏まえ、3年間そういう資料を提出したことも反省してくださいとするまさにおっしゃる通りだし、
0:48:24	ね何が出資したかわかんなくなってますよねと、何に基づいて審査したなかーがおかしくなっちゃってますよねっていうのはそこは反省してくださいってことなんだけど、
0:48:36	きちんと、これに限らずね、県と、厳然として持っている観察事実なりは、きちんと出してくださいっていうことなんですよ。
0:48:47	指摘として言うのであればね。
0:48:59	そこはちゃんと書く、書く。
0:49:02	べきじゃないですか書くべきだと我々は思うんだけど、
0:49:15	原電の神谷です。
0:49:18	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	藤。
0:49:21	はい、ご指摘よく理解をしました。
0:49:28	発送いたしますと、
0:49:32	今たまたま、たまたまじゃないな、この間の1-4の資料ってのは、
0:49:37	変更になったか、箇所のネックになった箇所について
0:49:43	お出しして、それに対してのエビデンスということでの元となるケーター
0:49:48	をお付けしているという形になるんですけども、
0:49:53	そういう意味ではその基となるデータというものが、いわば、
0:49:58	観察技術、
0:50:00	柱状図でいうと、
0:50:03	この観察カード等までは言いませんけどこの観察カードに近いような求まるデータに当たるもの。
0:50:11	になるんですね。
0:50:13	ですからそのあたりも、データ集という形になるのではないのかと、こういう
0:50:21	ご指摘と、今、池。
0:50:23	そこまでちょっと展開してですね、検討するということかと思ひ
0:50:28	ました。
0:50:31	ちょっとあのね、データ集として出すかどうかは別問題だと思うんだけど、今後説明する資料としてね説明資料とかに作っていくわけですよ。その時に、
0:50:42	データ持ってるんだけど、
0:50:45	あることすら、
0:50:49	こういうこともやってるっていうことふらわからないような状況になるのはやめて欲しい。
0:51:05	いや、いや、いやいやこういうデータもありますってのやめてくれってことなんだ。
0:51:19	ちょっとあまり踏み込んで議論してはいけないのかもしれませんが、
0:51:22	例えばこの間の変更箇所の一覧で出したものを、
0:51:26	これについてはですね、従前ですと、
0:51:29	いわゆる製造一覧表と呼んでる中、最後にデータ集。
0:51:34	地図データってまたこんな成長一覧表というところに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:38	走向傾斜高ですとか、
0:51:41	明瞭なせん断構造があるのかないのかっていう形でまとめている形で今まではお出ししていたんですね、従前は。
0:51:49	で、先日の9日の会合の資料の1-4は、その中の、
0:51:54	そこに書いてあるデータが、変更になるというものについてはこういうエビデンスで変更になりますっていうこと。
0:52:02	これは過去の、
0:52:04	審査会合でも、正常に関わるものが変更になるとかいうやつをあわせて説明してくださいっていうのも言われてましたので、そういうこと形でお出しをしたわけですね。
0:52:15	そうすっとこの間の資料で原点がどういうデータをもとにしてやってるっていうことは、
0:52:22	一つ
0:52:25	今回のプロセスでは、明確にはなったという
0:52:30	ことではあるんですけども、
0:52:40	あ、織田ですけど、明確になった。
0:52:43	私は明確になったとは思ってなくて、なぜかという、例えば、私が例に挙げて、
0:52:53	会合でやりとりをした、最新活動面を変えたっていう話は、
0:52:59	すいません。
0:53:02	9日の審査会合資料では、前はどのような考え方で、
0:53:08	という場所を最新面として、
0:53:10	いたにもかかわらず、今度どういったことを言った斎川さんですね、再観察した結果として、どうしてBという違うところを、
0:53:22	最新活動面として認定したかという説明が、
0:53:28	ありましたか。
0:53:31	現年カミヤすいませんそこはちょっと言い過ぎました。そこそまでに関しては不十分であったと思います。
0:53:38	どういう元となるデータを使いながらこのデータの確認、データを変更してきたかっていう程度のことまでお出ししたという、
0:53:49	というのが趣旨で申し上げただけ。
0:53:53	ノダです。はい。ちょっと特定したというところの認識がずれていたんですけど、今の点、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:59	そういう認識ができたと思うんで、はい。そういうことを、だからこれ がまさにあれですよ。今日の指摘事項の
0:54:08	2 ポツとか、3 ポツのところに該当してくるんで、
0:54:15	そういったものを、
0:54:18	サンプルまずはサンプルを、
0:54:20	出してもらいたいということで、
0:54:25	うん、なるほど。だから刀禰もナイトウですけど戻りますけど、
0:54:30	えっとね。
0:54:32	今回、宮中の上にするね、皆さんももとのデータと言っていて、本 来であれば時データになるものも含めて、いつもとなるデータとしてい るんだけど我々一次データ以外何だろうね。
0:54:47	いやそ一次データ集めてきて総括表で早めようにはみできるような 形してるものと思われていたという形で、その検査の中で、これ一次デ ータじゃないですよって扱いがあったからそういうふうになされてる。
0:55:00	だと理解はしてると思う。
0:55:02	一次データとしてもとんやとか、もともと、データというと、後がそれ から一次データとして取得してるデータ。
0:55:12	もう、
0:55:14	としての土地ちゅう条例にするね、今、それをもっと全部書き込んだ 形で中に出てきてるけれども、それが出てきてるとものすごい詳しい情 報が入ってる。
0:55:26	わけですよ。そう上に見えますとかいうことも含めてね。
0:55:30	破碎部が層序層厚上んとして分類できいそうな観察事実とかもいろいろ あるわけですよ。だけど、
0:55:39	だけど、申請書とかね、最初に出てきた中で見ると、今書いてる内容、
0:55:46	から引っ張れないものになってんですよ。
0:55:49	結局柱状図なのに、評価結果がかかっちゃってるっていう状況になっ ちゃう。
0:55:57	一次データじゃないものになっちゃって、ルールが今回は、黒瀬見直し のプロセスに基づいて作っ直したらそう、そういうことがわかりまし た。
0:56:07	ということになってるわけですよ。
0:56:11	だから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:13	9条は、まあね今回やったからお話したけど、他のものについては、ちゃんと位置付けたんだという、データとしてはこういうものだね。だけどそれを使って、
0:56:24	厳然として評価をしたが、これはオミットして良くてなぜならこっちを使った方がいいから、理由をねちゃんと明示した上で、何で1Jた網がこれだけなこういうデータを含めた上で、何でこういう結論なったのかってというのが、ブラックボックスにならないようにしてくださいという種ことなんですよ。
0:56:48	はい。
0:56:49	銀聯のカミヤです。ご趣旨が理解いたしました。
0:56:55	ちょっと申請書の柱状図は、確かにちょっと以前新沢さんから言われた言葉だと、ある種コンパイルしすぎた形のようなですね、申請書の形になって、
0:57:08	いたと思うんですけども、
0:57:10	ご出資をは理解いたしましたので、ちょっと持ち帰ってですね、その件も含めて、検討したいと思います。はい。
0:57:24	2ポツの話と密接に関わるってことはよく理解いたしました。
0:57:38	日本原燃堀江ですけども、今、持ち帰って検討っていうレベルではなくて、うちの基本スタンスとして、そういう考えでやりますよということだと思いますので、それは、齋藤さん言われた通り、
0:57:50	考えていきたいと思えますのでよろしくお願いします。
0:57:56	はい
0:57:58	おっしゃる通り、
0:58:00	基本3として、ちゃんとやりますというのがあって、ちゃんとやりますをどういう形で菅田化していくのかについては検討が必要ですよっていうということだと思うので、
0:58:12	神谷さん本当にどういう具体的な形で示すかっていうふうにもう頭がいきますので、はい。申し訳ない
0:58:25	規制庁野田です。そうしましたら一応、そうですねだから4ポツ、あと、
0:58:31	今、管理課から、
0:58:33	言及があった。
0:58:35	観察いいですかね。今度、小浦交通孫交通なんかすいません。別として、5、五つ目の項目として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:44	いうことで認識。
0:58:47	合意に至ったと思いますので、
0:58:50	それはあれですかね新規で書いていただければと。あとサンプルの話ですかね。ごめんなさい。
0:58:57	やっぱ2項目追加されるってことですよね。項目としては、
0:59:04	ほか、
0:59:07	今4+に話を話しているか。
0:59:14	確認をしたんですけど他、規制庁側からありますか。
0:59:29	原燃から何かありますここでこうしないと、共通認識を持ってないとまた違いましたって話は、やりたくないのここできちんと、
0:59:39	認識合わせはしておきたいんですけど。
0:59:51	すみません原電の齋藤ですけれども、本日こういった形で認識合わせをさせていただきましてどうもありがとうございます。
0:59:58	やはりですね、今後のちょっとスケジュール感的なところをですね、少しそれもですね、ちょっと認識を合わせてさせていただいてもいいかなと思ひまして、
1:00:10	私ども、今のところですね、まずう一番バーに関してはですねサーバーも含めですかね、サンプルを作成すると。
1:00:20	あと不適の間についての資料作ると、あと2番にあたってはですね言葉の定義ですね、そのあたりについてはそういう今作業を進めて、いつも早急で申し訳ないですけども、
1:00:33	できれば年明けぐらいに一度このような形でですね、方向で、何と申しますか、
1:00:44	園部喜田出来栄えといいますですね、私たちが理解してる内容についてちょっと、
1:00:50	ご確認いただける場合ですね、設定してあげるとありがたいなと思ってますけども、いかがでしょうか。
1:00:59	規制庁内藤ですけれども、あのね、
1:01:03	詳細検討しないと分かんないからっていうところわかるので、年明けをねらうって、まずはサンプルを作って、こんな感じでっていうのを出されるというそういうイメージを持ってるっていうことは理解しました。
1:01:18	で、そこはもうちょっと詰めてや、もう会社戻って、詰めていただいてこういうスケジュール感で進めることを考えてますっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:29	か他の事業者の方にも出してもらってるけど、1枚紙でね、こういうスケジュール感で今作業を進めていますって1枚紙を作っていたらそれを面談でちょっと提示していただければと思います。
1:01:45	そうしました。今のスケジュールっていうのは次回の審査会合に向けてのスケジュールということでまずよろしいでしょうか。はい。失礼しました。
1:02:00	規制庁の野田です。
1:02:02	次回会合に向けたスケジュール感っていうのは、
1:02:07	どれぐらいのタイミングで、
1:02:10	対応されますか。
1:02:16	全然違う。
1:02:18	そうですかね。ナイトウですけどそれはね。厳然として年内には提示できるそうだというふうに考えておけばよろしいですかスケジュール感としての。
1:02:28	作業スケジュールとしてはこういう形で進めて、1月ぐらいに中身を提示できるようなスケジュール。
1:02:37	になるかどうか改訂検討だと思うんだけど、そういういつごろでできるのかっていうスケジュール化については年内には出てくるというそういう認識であればよろしいですか。はい。現在のサイトでございます。ちょっとですね作業スケジュールに関してはこれから変えて、もう1回ですね、今日の募集、
1:02:54	を踏まえて作り直しなんですけれども、私どももですねこの本件早めに対応したいと思っておりますので、今内藤管理官おっしゃいましたような、年内にスケジュールについてまず、
1:03:07	お出しするという方向で検討させていただきます。
1:03:12	県の方がよろしいですかね。
1:03:14	間瀬さん大丈夫。はい。すいません。はい。よろしくお願いします。
1:03:22	規制庁野田です。年内っていうか来週ぐらいに出してもらえればと思うんですけど。
1:03:29	スケジュールだけでなく今日のデータを踏まえた、この式事項の修正版も併せて、
1:03:37	確認させていただければと思いますんで、内容としては、この指摘事項の修正版と、あとは歯科医師さん、審査会合に向けた、
1:03:47	次ですかね、その二つ項目になると思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:52	準備をお願いできればと思います。
1:03:57	承知いたしました。
1:04:06	はい、規制庁小野田です。
1:04:09	規制庁側から多分これ以上ないんじゃないかと。
1:04:12	理解してますけど、日本原電の方から何か、全体にわたって、
1:04:18	確認とか、
1:04:22	ありましたらお願いします。
1:04:45	すいません現在ノセでございます。
1:04:47	私だけ理解してないかもしれないんで教えていただきたいんですけど。
1:04:52	この紙に、そのサンプのところの、今修正前のもの。
1:04:57	付け付けることっていうことで書いてるんですけど、
1:05:01	さっき、
1:05:02	先ほど内藤さんから、そう、そうではないようなことを言われたんですけど、
1:05:10	そこんところはちょっともう一度わからなくてもう一度ちょっと、
1:05:13	ご説明いただけますでしょうか。
1:05:16	内藤ですけども、これ修正前の資料を作って、誤記も含めて全部つける。
1:05:21	なっちゃうじゃないですか、対時間ですよ我々は評価を見直すかっていうと、さっき、さっきも例示出てるけれども、
1:05:29	最終面、前はこういう考え方でこう判断してました。
1:05:33	で、差し目、こういう考え方でこういうふうになしました。
1:05:37	だったらそれをちゃんと、
1:05:41	何で変わったのかわかるような形できちんと出してください。
1:05:49	5号機のやつはねマイクを土佐美ん別々資料で添付しなくたって、マイクを書いてあったのがこれコピーで、ここを変えましたっていいわけでしょう。
1:06:02	いやだからね、多分この書き方とさ、例えば、また
1:06:07	またとか、そういうセットもね、
1:06:10	まだとかになってますかって言ったらそれもエビデンスつけて全部出すんかと。
1:06:15	そういう話じゃないですよ。
1:06:18	あ、ノダで少し補足すると、多分カテゴリ分けをすると思うんですよ。そうすると、そのカテゴリ分けっていうのは、もちろんそのどうい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ったものに分類されるかっていうのもそうですし、それによって我々が重要とかわかるわけですよ。
1:06:32	だから、誤記みたいなものっていうのは、我々もそんなに重視してなくて、やっぱり再評価、監査ⅠⅠ再観察の結果だったり、評価の見直していうところ我々そこをしっかりと、
1:06:45	どういったことかっていうところを確認しなくてはいけないんでそういったところはやはり、その前はどし、どういうその、どこを、例えば、どういう考え方で、
1:06:56	認定したものを、どういうプロセスを経て、どういう理由で、今回、
1:07:01	変えたのかっていうそういうプロセスだったり内容だった理由を見れるようにしてくださいっていうので、ことで、一律すべてについて修正前のものをつけてくださいと言ってるわけではないと、そういうことなんですけど。
1:07:15	ご理解いただけましたでしょうか。
1:07:21	能勢。
1:07:22	そこはわかりました
1:07:24	5号機の場合は、別にそんなつけても、
1:07:28	あまりいいねと。
1:07:30	で、特にこう見直して再評価しますって言ったときに、その前のと、以降でしたときには、考え方も、
1:07:42	一緒に書いてないと意味がないってそういうことですよ。ただ単純に、過去の記録で、
1:07:49	発行さしてました。
1:07:52	ていうのだけついててもしょうがないってということですか。
1:07:56	相田さん方がいいですよ。そうですね。
1:07:58	前でね。
1:08:01	刀禰エビデンスを、規制庁に対して江口CSOってわかんないものと出てくると思うので、
1:08:07	こういうエビデンスに基づいてたまたま寛解とおかしいということと、
1:08:13	B2層だとどう判断しましたってのがわかんないものも、
1:08:20	出てきたらそれはそれでいいんだけど、でも、少なくとも前のエビデンスはこうこういうものがあって、区営等、今回のやつはこういうデンスを使っていて、何で変える必要があるのかっていう
1:08:32	判断をしたのかってのはしっかり書いてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:35	いやだからそこ少ないとねさっきも言ったけれども、結局、
1:08:40	判断変えてる。
1:08:42	ことは、
1:08:43	上書きしてるんですよ。
1:08:47	いや上書きした理由がもう出てこない。
1:08:50	ということになると、またブラックボックスなっちゃってるわけですよ。今回のものは、問題の、
1:08:56	発端と同じ状況になってるわけですよ。そこがないような形にはしてくださいってことなんですけど。
1:09:09	はい、現在のカミヤですけども、今日の最初の方のやりとりでも根拠というような、
1:09:14	お話もありましたから、要するに、
1:09:17	うん。
1:09:18	なぜそっちが正しいのかっていう。
1:09:21	根拠ですよ、根拠、そういうことも含めてわかるように、
1:09:26	もちろん、変更前がこういう考え方でっていうんであればそれは変更前の根拠だし、変更後がこういう、実はこういうことだと。
1:09:35	こういうことを再観察で確認したからっていうのはそれが根拠であるっていうことがわかるようにっていう、
1:09:41	いうものを、エビデンスのほうでもわかるようにするってことかと理解をしています。
1:09:48	ナイトウですけどね、本格で再観察したからだけで終わらないで再観察した結果、こういうここにこういう特徴があるので、
1:09:58	もう、前のやつはそ本ドカーンところだとかいうことで、で比較をした結果こっちの方がそういう、どういうことを考えればこっちの方が適切と判断しましたっていう、変える。
1:10:11	根本理由。
1:10:13	が明確になるようにして欲しいんですよ。
1:10:17	はい、承知しました。
1:10:22	カイダです。1例挙げると例えば破碎幅を変え、変えたのが何ヶ所かあってそれは観察事実が、
1:10:31	ちゃんと
1:10:32	反映されてなかったという一言なんですけどよくよく見ると、
1:10:36	測り直して、変わったものもあれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:39	その別の破砕部が変わったのに1個のがもう、対象物が変わったことによって、それで変わったものもある。
1:10:47	ていうのが、まずこの一覧表からはわからないし、その資料の方も見ても、
1:10:54	その辺がちょっと今のやつだと明確にわからないので、前後比較した上で、前はこう見て、あとはこう見て、それは何でかっていうところがわかるように、今、1例としては佐山のところなんですけどそれ以外にも多々あるかと思しますので、
1:11:09	そこがわかりやすいようになっていうか、ちゃんとわかるようにしていただきたいっていう、そういった趣旨です。
1:11:24	野瀬さん大丈夫。
1:11:30	いや、刀禰。一言で言うと、ブラックボックスにならないようにしてください。さあ、
1:11:37	資料上んん何でこう変える必要があったのかというのがわかるようにしてくださいっていう、そういうことで、
1:11:50	他、巖然さんからあります、なけりゃ終わりにしたいと。
1:11:55	思うんですが、
1:12:00	はい。疑念カミヤですけど、
1:12:03	以上で結構でございます。
1:12:09	あ、シートノダです。そうしましたら本日の面談、これで終了にしたいと思えます。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。